

新規

事業者名

合同会社小国まつや発電所

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

温泉余剰蒸気(再生可能エネルギー)を利用し、熊本県で最初のバイナリー発電所として、日本有数の地熱地帯の豊かな自然エネルギーを有効活用し、地球にやさしく、持続可能な地熱発電事業に取り組みます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
		項目	平均発電量/月
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	グループ事業「やすらぎの宿 まつや」の源泉から噴出される温泉余剰蒸気「再生可能エネルギー」の利用	現状(2025年)	更新時(3年後)
		21,000kwh	23,000kwh
		項目	ブルーベリー栽培の収穫量
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	地熱バイナリー発電で使用した温泉水をハウス内に張り巡らせたパイプに流して再利用した、グループ事業が行っているブルーベリー栽培の取り組み	現状(2024年)	更新時(3年後)
		300kg	330kg
		項目	ノー残業デー/月
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ノー残業デー(働き方の見直し)の徹底	現状(2025年)	更新時(3年後)
		2日	4日

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

地元企業や地域住民と連携し地域経済への貢献と従業員の経済的安心・働きやすい職場環境づくりを推進する。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。